

記者発表資料

令和2年2月20日（木）

日高市健康推進部 保健相談センターTEL042-989-2111 内線 6642担当者職・氏名 課長 関根 俊介**新生児聴覚検査費助成を開始します**

新生児医療費に係る経済的負担を軽減し、少子化対策の推進を図るため、令和2年度から新生児聴覚検査費用の一部を助成します。

概要

新生児聴覚（スクリーニング）検査は、早期に難聴の有無を発見するために、生後間もない新生児に行う聴覚検査です。先天性難聴は1,000人に1人か2人の率で出現するといわれており、難聴のあることに気付かずにいると言葉の発達が遅れたり、コミュニケーションが取りにくいなどの支障が起きます。早期発見で適切な支援をすることで、子どもの言語の発達を促すことが必要ですが、通常の診察では判断することが困難なため、専用のスクリーニング装置による検査が必要になります。

その検査費用の一部助成を開始します。

実施時期 令和2年4月1日から

対象 市内に住所を有する新生児および乳児を養育する人

対象となる検査

- ①自動聴性脳幹反応検査（自動ABR）：小さい音をイヤホンから聞かせて脳からの電氣的反応を皮膚表面の電極にて検出します
- ②耳音響放射検査（OAE）：音を聞かせて内耳が反応し、外耳道に放射される音を検出します

※どちらの検査も痛みやかゆみなどもなく、検査による負担は全くありません

助成金額 検査に際して負担した費用の額とし、5,000円を上限とします